

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 難病セミナー開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3319)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 190 千円 (前年度予算額： 190 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	190	0	0	0	0	0	0	0	190
要求額	190	0	0	0	0	0	0	0	190
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

難病セミナーを通じて、医師や理学療法士等から、治療や療養についての情報提供が行われることで、患者及びその家族の心理的負担の軽減を図る。

また、患者同士の交流の場として情報交換を行うことで、長期に渡る療養生活の質の向上を目的とする。

(2) 事業内容

指定難病・小児慢性特定疾病患者及びその家族を対象に、各保健所が管内に多い疾病患者等、対象者のニーズを把握し、難病セミナーを開催する。

(セミナー内容)

- ・ 疾病に関する正しい知識の習得
- ・ 食事、運動等療養生活上の注意点や工夫等に関する学習
- ・ 患者や家族同士の交流、情報交換
- ・ 地域支援体制や各種制度利用について

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	91	医師等講師に対する報償費
旅費	49	医師等講師に対する費用弁償
需用費	11	事務消耗品
役務費	39	セミナー案内郵送料、電話代
合計	190	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

難病セミナーを通じて、医師や理学療法士等から、治療や療養についての情報提供が行われることで、患者及びその家族の心理的負担の軽減を図る。

また、患者同士の交流の場として情報交換を行うことで、長期に渡る療養生活の質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

当事業の内容は数値で示すことができないため、指標の設定をすることはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で保健所において開催できなかった。
令和3年度	各保健所が管内の実情やニーズに応じてセミナーを開催することで、患者やその家族が疾病に関する理解を深めるとともに、患者同士や関係者との交流などを通じて、心理的負担の軽減や療養意欲の向上を図っている。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>本事業は、平成21年度で事業を1度廃止し、難病セミナーの目的である「患者及びその家族同士の交流」を、難病団体連絡協議会への委託事業である「難病医療相談会事業」の中で取り入れたが、個別の疾患ごとの相談会である医療相談では、患者同士の時間を確保することが難しく、十分な交流を図ることができなかつたため、患者団体等からの強い要望により平成23年度から再度実施している。そのため、必要性の高い事業である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>本事業の実施によって、難病患者同士の交流の場ともなり、日常生活での不安が軽減されることにもつながることから、有効な事業である。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	<p>各保健所を実施主体とすることにより、より地域の患者のニーズに合ったセミナーを開催することができ、効率的に実施できている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 難病法成立に伴い、対象疾病が大幅に拡大されたため、対象疾病の選定が困難となる。特に、患者数が少数の疾患などは、患者数が多い疾病に比べニーズが十分把握できず、セミナーの対象とすることが困難である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 当事業の実施によって、治療や療養についての情報提供が行われることにより、患者及びその家族の心理的負担が軽減され、また患者同士の交流の場として情報交換が行われることで、長期に渡る療養生活の質の向上に役立つため、難病セミナー開催の要望は強く、来年度も継続して事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	